

開催の報告：プラ核男女共同参画委員会・若手インフォーマルミーティング共催

インフォーマルミーティング

『核融合科学研究者人生体験型ボードゲーム『Dancing Fusion Basket』

東京工業大学科学技術創成研究院先導原子力研究所

近藤 正聡(kondo.masatoshi@lane.iir.titech.ac.jp)

2018年12月4日、プラズマ・核融合学会第35回年会(大阪大学、吹田キャンパス)にて、プラ核若手インフォーマルミーティングとの共催によりインフォーマルミーティング『核融合科学研究者人生体験型ボードゲーム『Dancing Fusion Basket』\*を開催いたしました。

本企画の目的は、有志で開発したボードゲームに触れながら、原型炉のシステム構成や研究者の多様性(ダイバシティー)、キャリアパスについて楽しく学ぶ機会を提供することです。インフォーマルミーティングでは、近藤正聡氏(東工大)の趣旨説明に続き、村上泉氏から男女共同参画推進の考え方や委員会の活動状況が紹介された後、田中のぞみ氏(大阪大学)からボードゲームの内容が紹介されました。後半は、約40名の学会員が実際にボードゲームに触れながら、原型炉の仕組みや研究者の多様性の大切さを学びました。

\*『Dancing Fusion Basket』は、有志が専門性を超えて集まり、半年以上の期間をかけて開発した完全オリジナルのボードゲームです。このボードゲームでは、プレイヤーが核融合科学研究者となることで、様々なライフイベントを乗り越えながら原型炉建設をめざす研究者人生の一端を体感することができます。



(a) 企画の趣旨説明  
(東工大 近藤正聡)



(b) プラズマ・核融合学会男女共同参画  
委員会の活動紹介  
(核融合科学研究所 村上泉)



(c) ボードゲームルール説明  
(大阪大学 田中のぞみ)



(d) ボードゲームを  
プレイしている様子